

陸側遮水壁の状況(第一段階 フェーズ2)

TEPCO

- 陸側遮水壁は凍結それ自体を目的としたものではなく、建屋への地下水の流入を抑制し、汚染水の発生を抑制するための対策である。
- 第一段階フェーズ2において山側の95%以下を閉合することで、建屋周辺への地下水の流入量を減らすことができ、第一段階として、汚染水の発生を抑制することができる。
- 第一段階を通じて、陸側遮水壁の効果発現状況を陸側遮水壁内外の地下水位差およびサブドレン・ウェルポイント・地下水ドレンの汲み上げ量等により確認していく。

地中温度経時変化

注1) 中粒砂岩層の平均地中温度(青線):
 地表~GL-2mと第1泥質部境界付近を除く1mピッチで計測されている測温管温度の平均値
 注2) 互層部の平均地中温度(赤線):
 互層部上下の層境界付近を除く、1mピッチで計測されている測温管温度の平均値

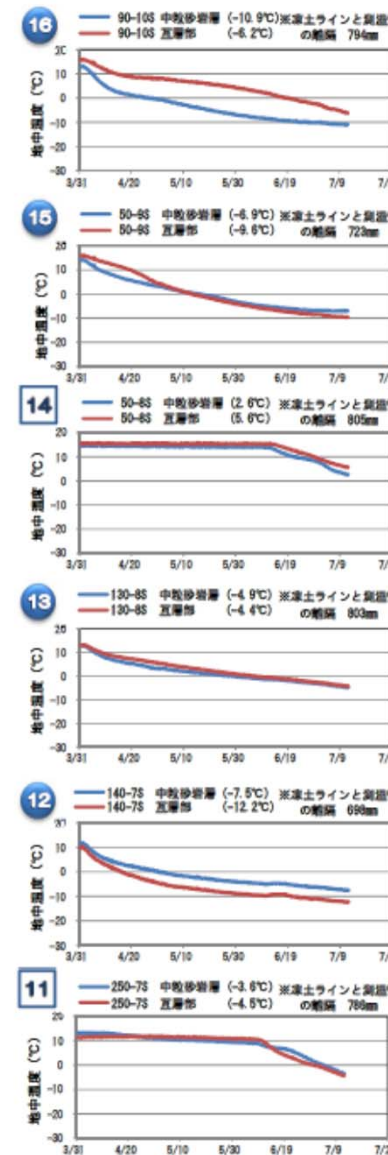
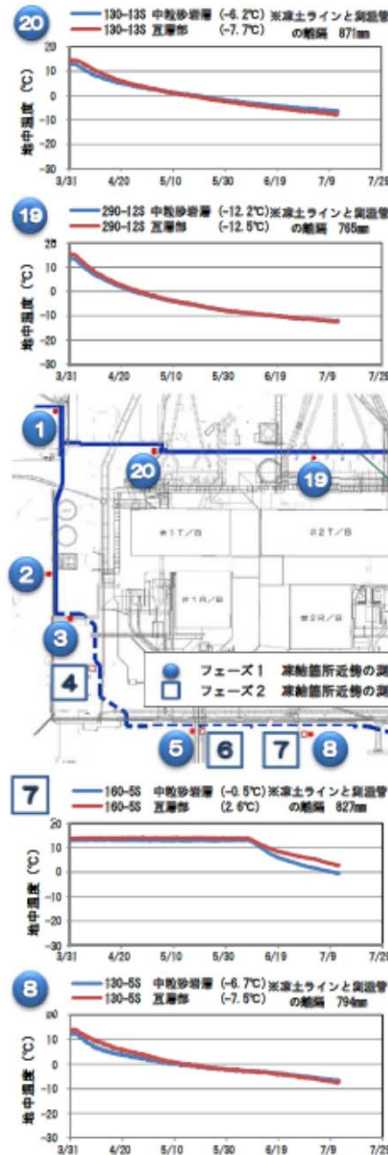
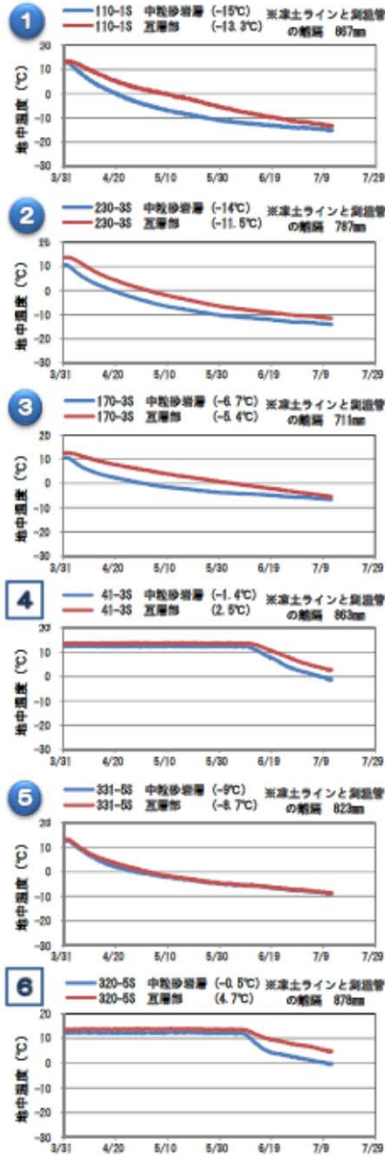


陸側遮水壁 経過報告

地中温度(測温管温度)

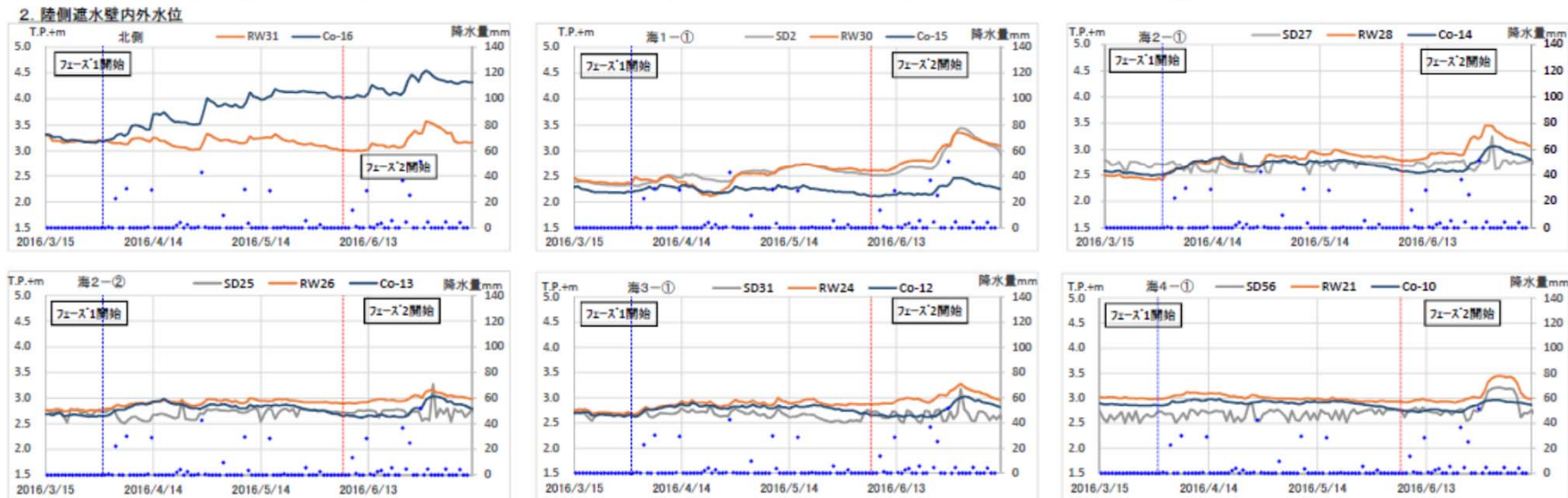
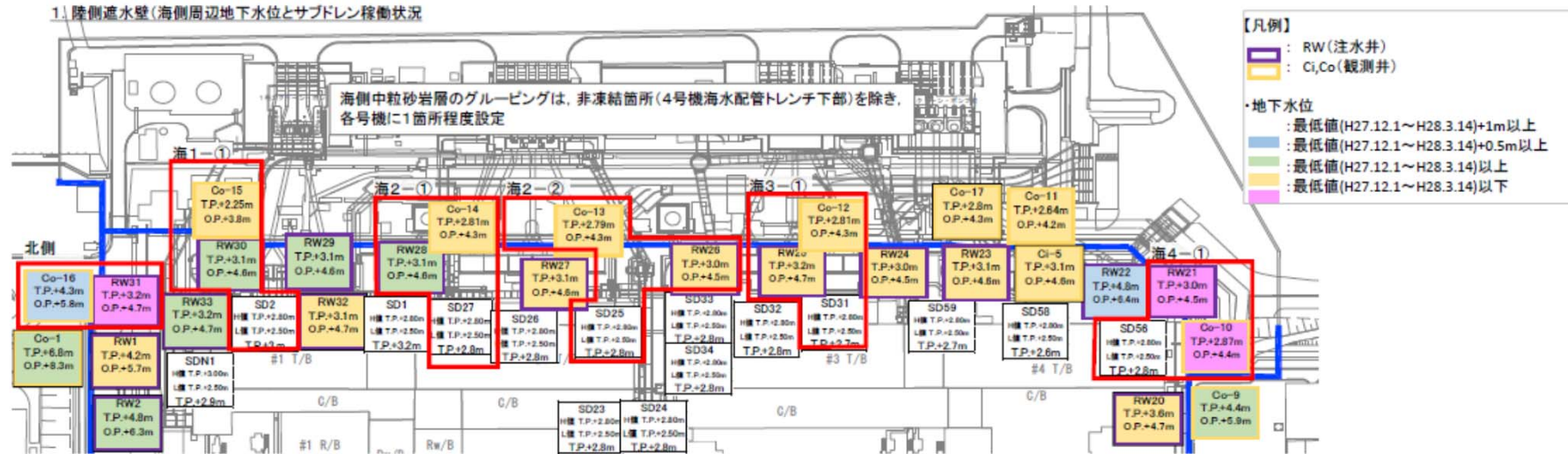
7/12 07:00時点のデータ

フェーズ 2



地下水位・水頭状況(中粒砂岩層① 海側)

陸側遮水壁運用初期における監視項目(第一段階フェーズ2 海側 中粒砂岩層水位)

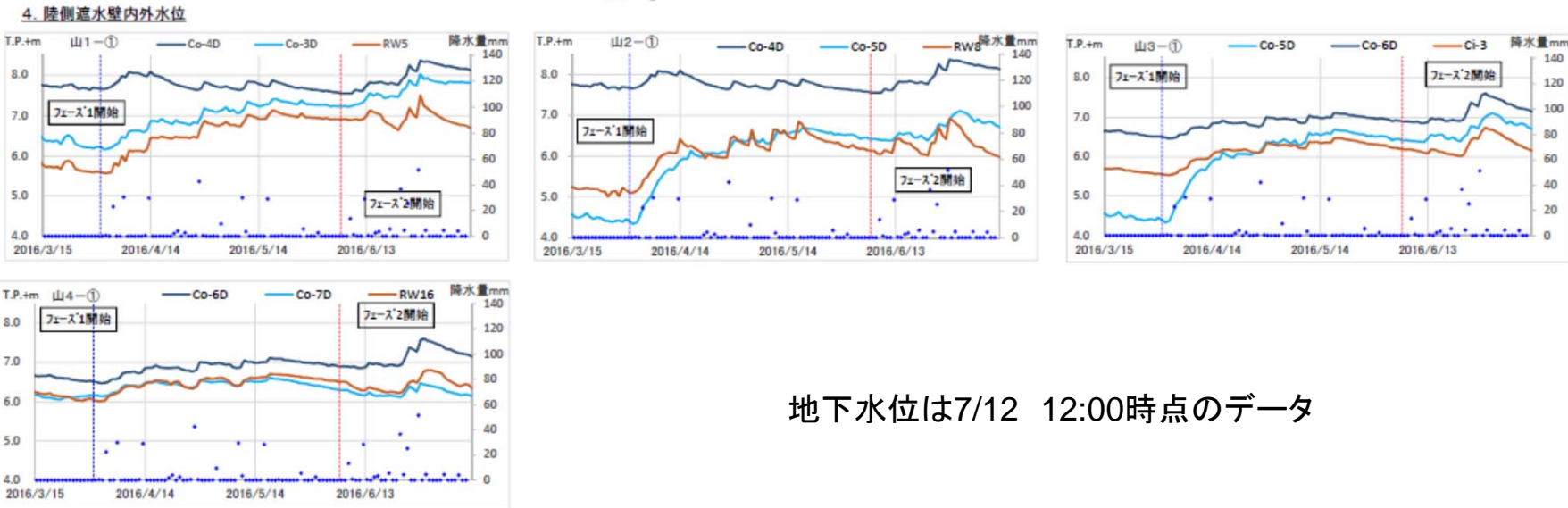
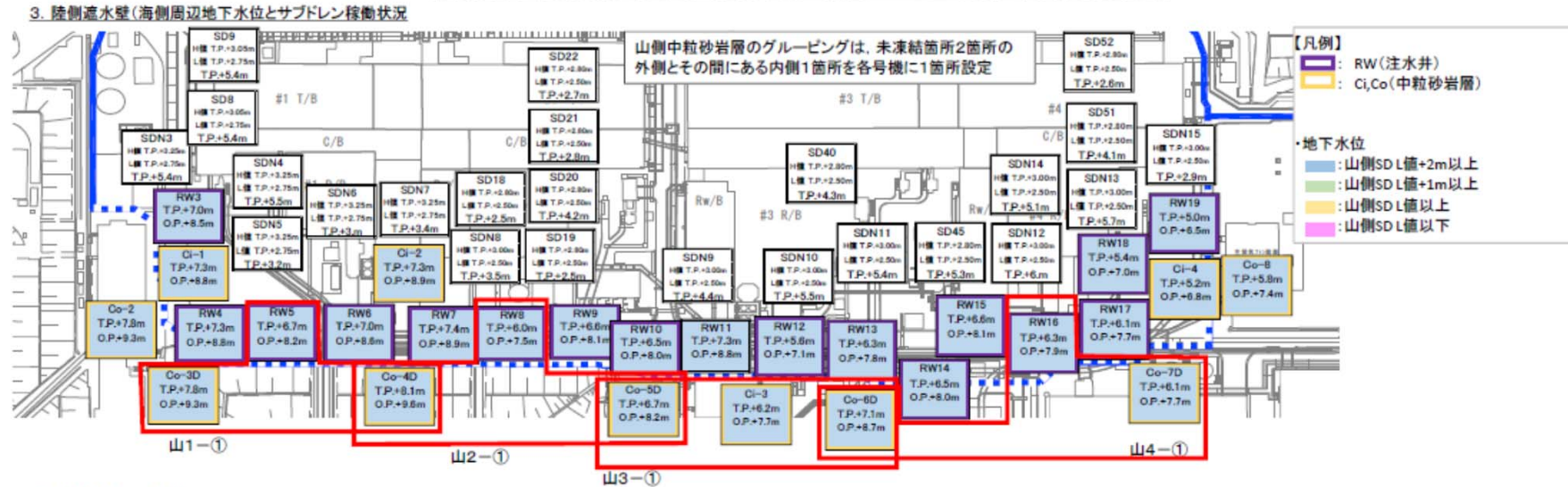


地下水位は7/12 12:00時点のデータ

地下水位・水頭状況(中粒砂岩層② 山側)



陸側遮水壁運用初期における監視項目(第一段階フェーズ2 山側 中粒砂岩層水位)

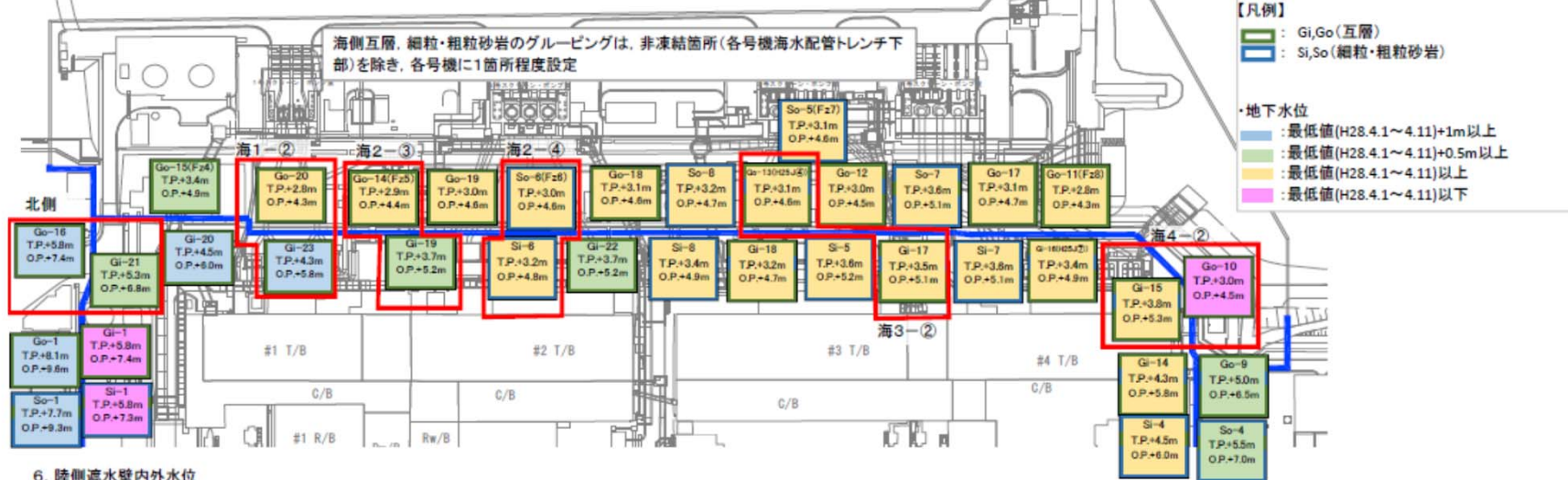


地下水位は7/12 12:00時点のデータ

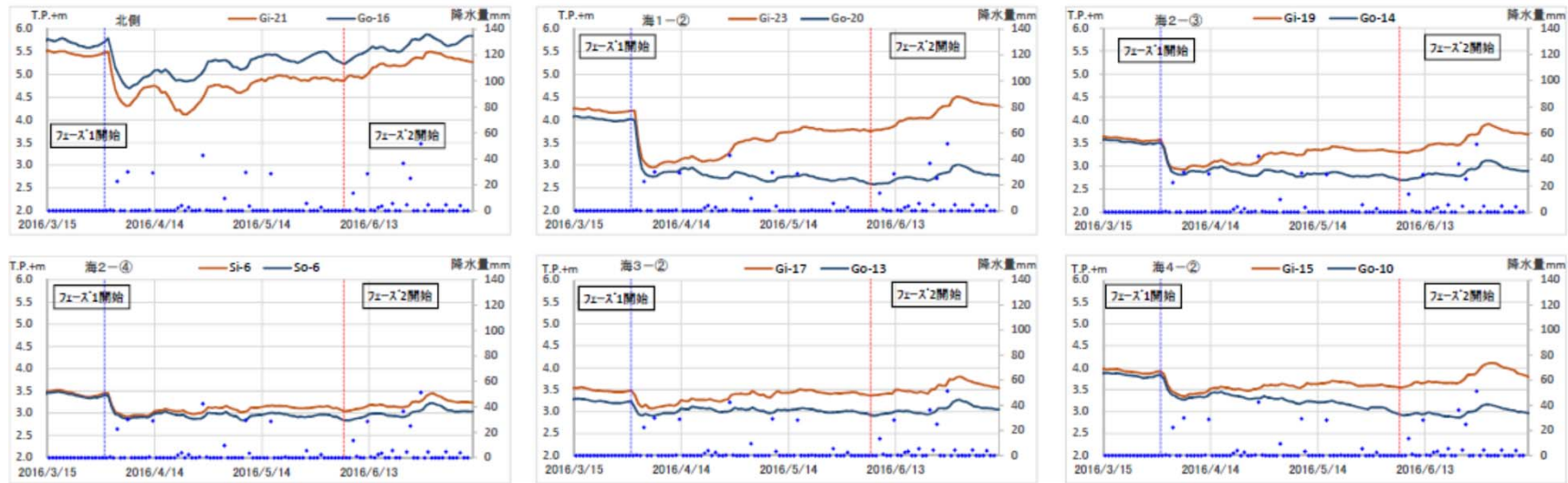
地下水位・水頭状況(互層、細粒・粗粒砂岩層水頭① 海側)

陸側遮水壁運用初期における監視項目(第一段階フェーズ2 海側 互層、細粒・粗粒砂岩水位)

5. 陸側遮水壁(海側周辺)地下水位とサブドレン稼働状況



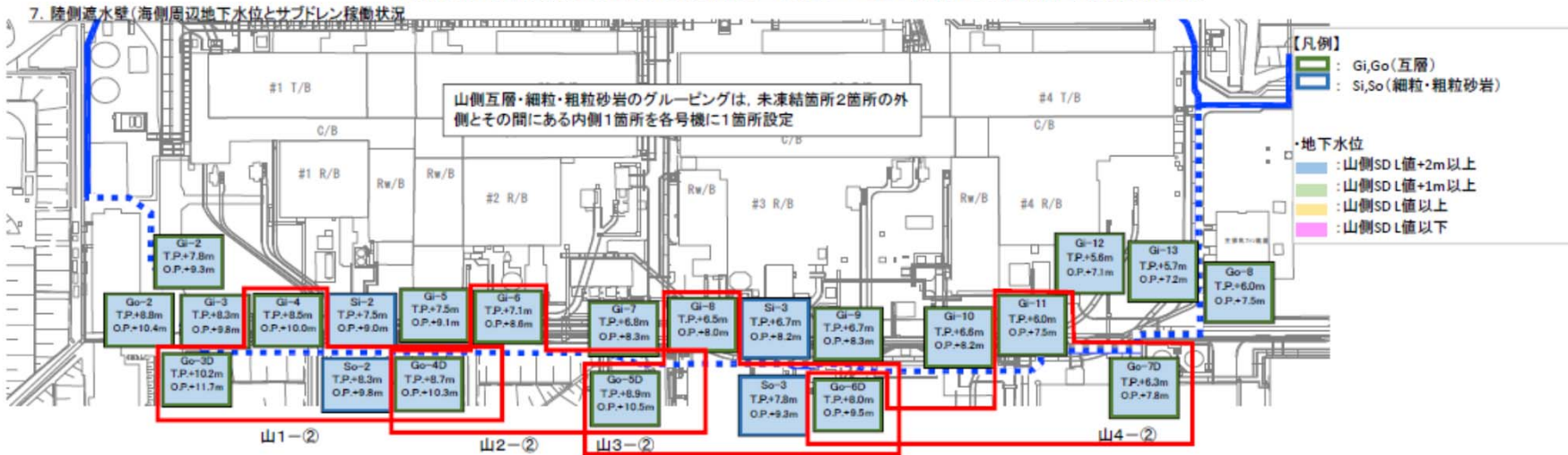
6. 陸側遮水壁内外水圧



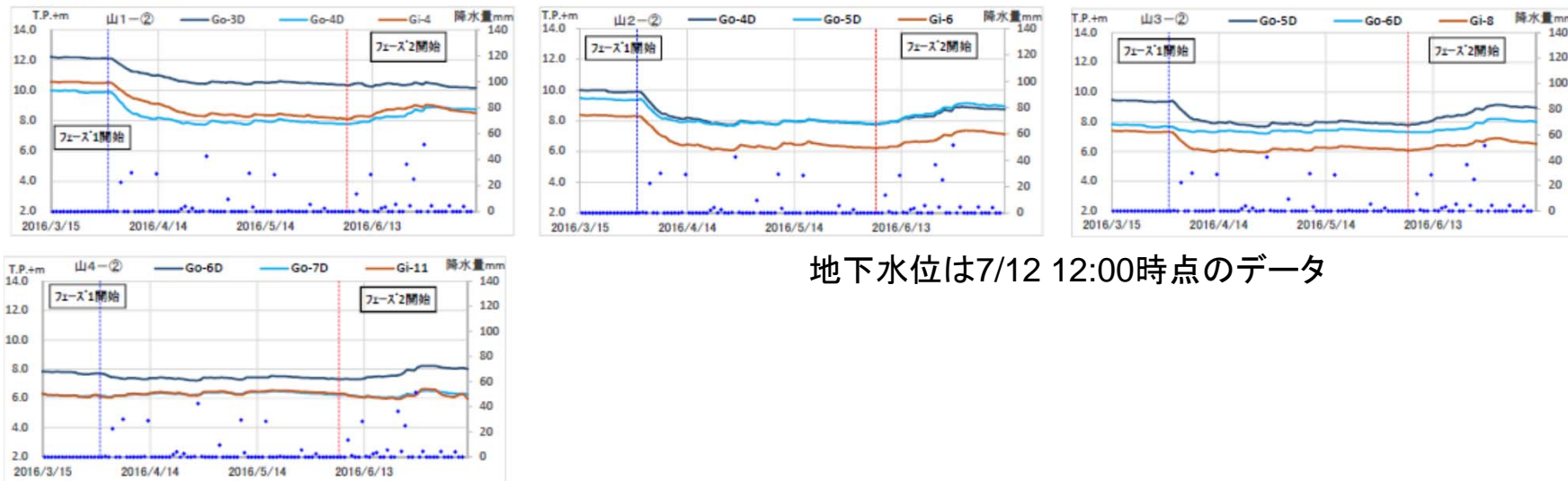
地下水位は7/12 12:00時点のデータ

地下水位・水頭状況(互層、細粒・粗粒砂岩層水頭②) 山側

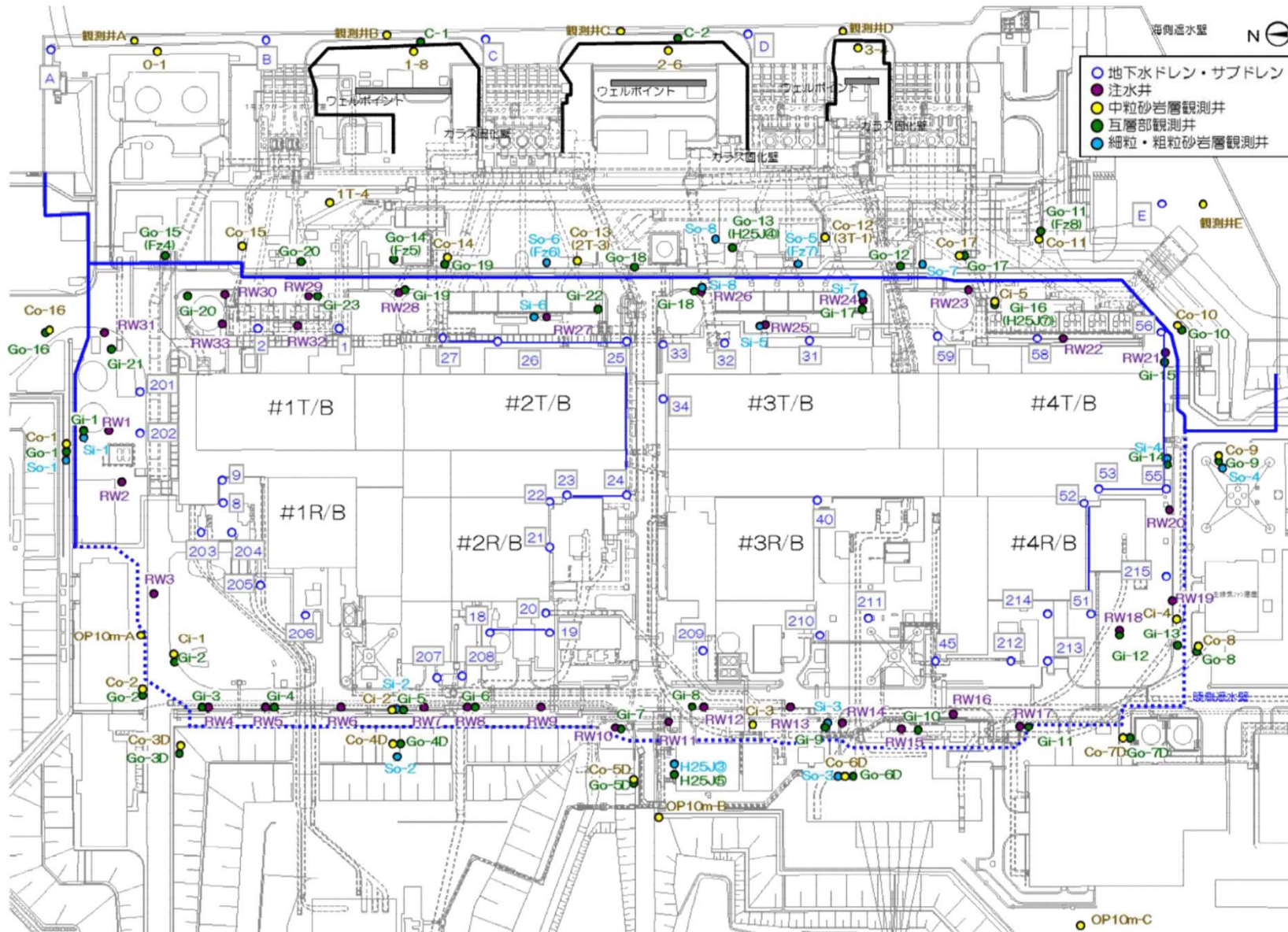
陸側遮水壁運用初期における監視項目(第一段階フェーズ2 山側 互層、細粒・粗粒砂岩水位)



8. 陸側遮水壁内外水位



【参考】地下水位観測井位置図(2016年6月現在)



【参考】地中温度分布図(1号機北側)

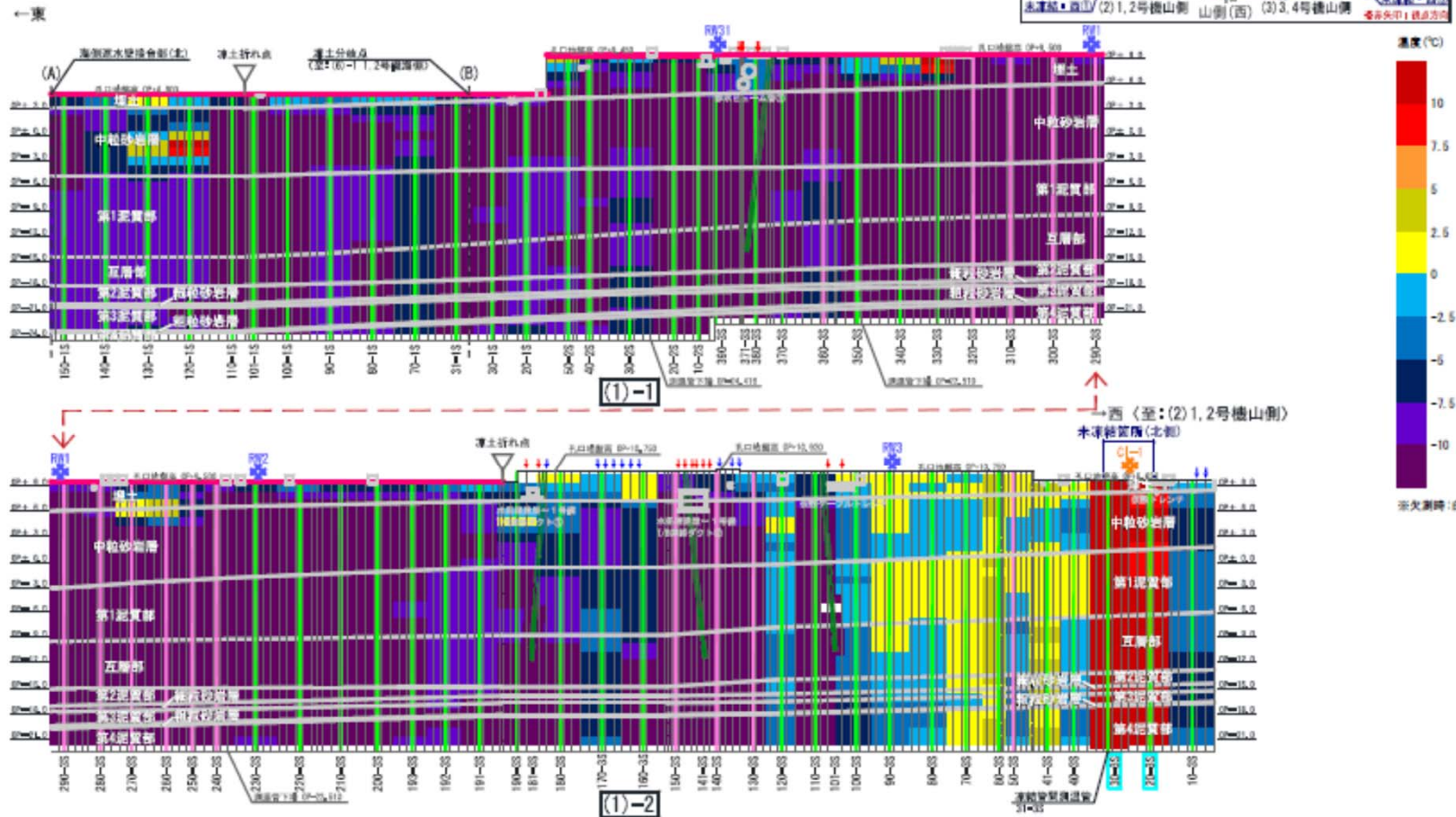
○地中温度分布図は、陸側遮水壁の周りに設置した測温管における地中温度について、深さ方向の温度変化を確認するための参考データとしてまとめたもの。



■ 地中温度分布図

(1) 1号機北側 (北側から望む)
(温度は7/12 7:00時点のデータ)

- 凡例
- 測温管 (凍土ライン外側)
 - 測温管 (凍土ライン内側)
 - 測温管 (埋列部内)
 - 未凍結箇所埋列測温管
 - ▽ 凍土折れ点
 - R/R (リチャージウェル)
 - C/I (中粒砂透層・内側)
 - 単列部凍結管 (先行)
 - 複列部凍結管
 - 海側・北側一部凍結箇所



【参考】地中温度分布図(3・4号機西側)

■ 地中温度分布図

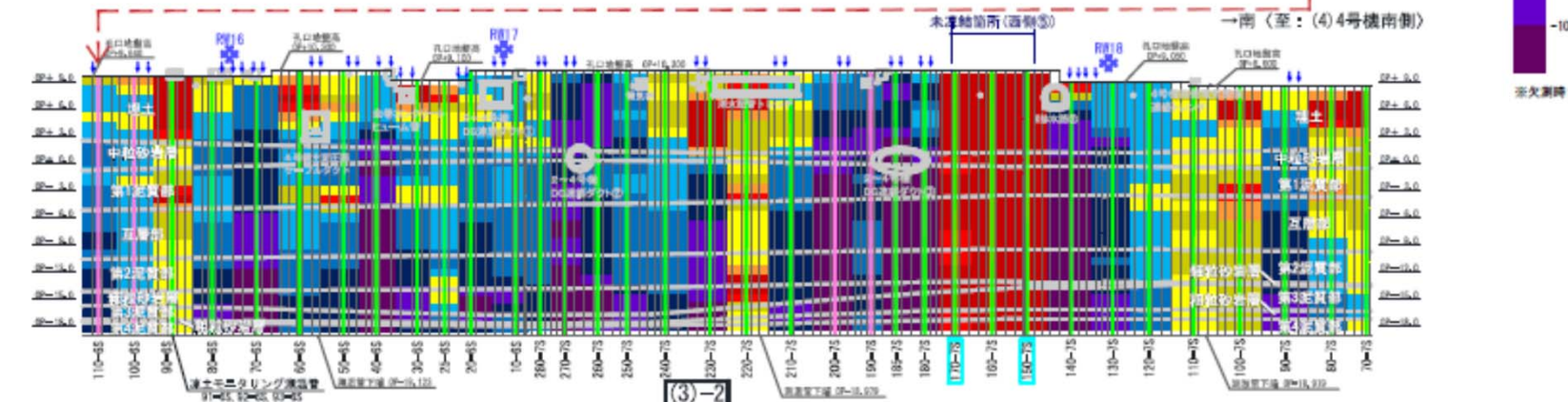
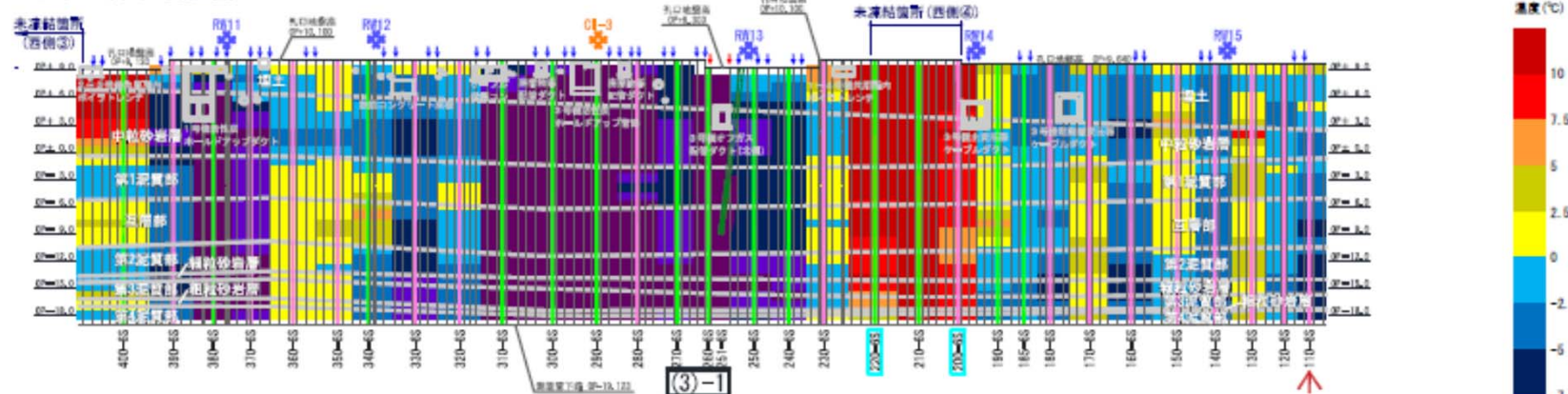
(3) 3,4号機山側 (西側から望む)

(温度は7/12 7:00時点のデータ)

- 凡例
- : 測温管 (凍土ライン外側)
 - : 測温管 (凍土ライン内側)
 - : 測温管 (複列部割め)
 - : 未凍結箇所管理測温管
 - ▽ : 凍土折れ点
 - ★ : RR (リチャージウェル)
 - ★ : CR (中粒砂巻層・内側)
 - ★ : 単列部凍結管 (先行)
 - ★ : 複列部凍結管
 - ★ : 海側・北側一部凍結箇所



←北 (至: (2) 1,2号機山側)



【参考】地中温度分布図(1・2号機東側)

■ 地中温度分布図

(6) 1, 2号機海側 (西側：内側から望む)

(温度は7/12 7:00時点のデータ)

凡例

- 凍温管 (凍土ライン外側)
- 凍温管 (凍土ライン内側)
- 凍温管 (複列部締め)
- 未凍結箇所管理凍温管
- ▽ 凍土折れ点
- RI (リチャージ Jewel)
- CI (中粒砂透層・内側)
- 単列部凍結管 (先付)
- 複列部凍結管
- 海側・北側一部凍結箇所

